

# PX-S884/S885

## 簡単お手入れマニュアル

PX-S884/S885: Maintenance Manual

本書は、お客様ご自身で簡単にトラブル解決できるメンテナンス方法をまとめたものです。  
是非、お手元に大切に保管してご活用ください。

## 目 Index

01 メンテナンス

02 困ったときは？

03 消耗品の交換

04 インフォメーションのご案内

## 01 メンテナンス

### ▶ ノズルチェックとヘッドクリーニング

ノズルが目詰まりしていると、印刷がかすれたり、スジが入ったり、意図しない色で印刷されたりします。印刷品質に問題があるときは、ノズルチェック機能を使用してノズルの目詰まりを確認してください。ノズルが目詰まりしているときはヘッドクリーニングをしてください。ノズルチェックとヘッドクリーニングは操作パネルまたはコンピューターから実行できます。

#### ⚠ 注意

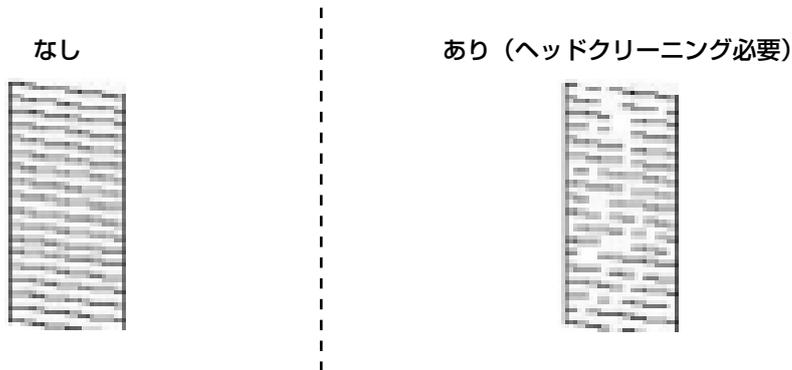
- ▶ ヘッドクリーニング中は、電源を切ったり、前面カバーを開けたりしないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。
- ▶ ヘッドクリーニングは必要以上に行わないでください。インクを吐出してクリーニングするため、インクが消費されます。
- ▶ インク残量が少ないと、ヘッドクリーニングできないことがあります。
- ▶ ノズルチェックとヘッドクリーニングを交互に4回程度繰り返しても目詰まりが解消されないときは、印刷しない状態で6時間以上放置した後、再度ノズルチェックとヘッドクリーニングを実行してください。電源を切って放置することをお勧めします。それでも改善されないときは、EM システムズインフォメーションセンターまでお問い合わせください。
- ▶ プリントヘッドが乾燥して目詰まりすることを防ぐため、電源が入ったまま電源プラグを抜かないでください。

### ▶ ノズルチェックとヘッドクリーニングをする - 操作パネル

- ① 用紙カセット1にA4サイズの普通紙をセットします。  
.....
- ② ホーム画面で [プリンタのお手入れ] を選択します。  
項目を選択するには、▲▼◀▶ ボタンでフォーカスを動かして、OK ボタンを押してください。  
.....
- ③ [プリントヘッドのノズルチェック] を選択します。  
.....
- ④ 画面の指示に従ってノズルチェックパターンを印刷します。

- ⑤ 印刷したパターンを見てノズルに目詰まりがあるかないかを確認します。

下の「あり」の図のように、部分的に印刷されていなかったり、線が欠けたりしているときは目詰まりしています。次の手順に進んでください。「なし」の図のように全ての線が印刷されているときは目詰まりしていません。○を選択してノズルチェックを終了します。



- ⑥ ✖ を押して画面の指示に従ってヘッドクリーニングを実行します。

- ⑦ クリーニングが終わったら、再度ノズルチェックパターンを印刷します。ノズルチェックパターンの全ての線が印刷されるまで、ノズルチェックとヘッドクリーニングを繰り返します。

## → ノズルチェックとヘッドクリーニングをする -Windows

- ① 用紙カセット 1 に A4 サイズの普通紙をセットします。
- ② プリンタドライバの画面を表示させます。
- ③ [ユーティリティ] タブの [プリントヘッドのノズルチェック] をクリックします。
- ④ 画面の指示に従って操作します。

## → ノズルチェックとヘッドクリーニングをする -Mac OS

- ① 用紙カセット 1 に A4 サイズの普通紙をセットします。
- ②  メニューの [システム環境設定] - [プリンタとスキャナ] (または [プリントとスキャン]、[プリントとファクス]) の順に選択し、お使いのプリンタを選択します。
- ③ [オプションとサプライ] - [ユーティリティ] - [プリンタユーティリティを開く] の順にクリックします。
- ④ [プリントヘッドのノズルチェック] をクリックします。
- ⑤ 画面の指示に従って操作します。

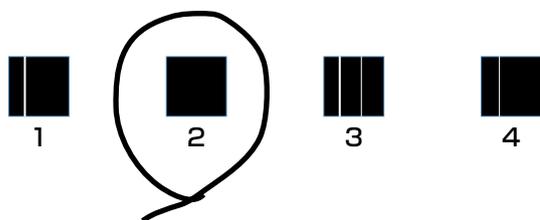
## ▶ プリントヘッドの位置を調整する

印刷位置がずれて、縦の罫線がすれたりぼやけたような印刷結果になったりするときは、プリントヘッドの位置を調整してください。

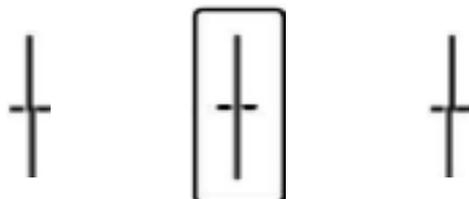
### → プリントヘッドの位置を調整する - 操作パネル

- ① 用紙カセット 1 に A4 サイズの普通紙をセットします。
- ② ホーム画面で [プリンターのお手入れ] を選択します。  
項目を選択するには、▲▼◀▶ ボタンでフォーカスを動かして、OK ボタンを押してください。
- ③ [プリントヘッドの位置調整] を選択します。
- ④ 調整項目を選択します。
  - 縦罫線すれの改善：縦線がガタついて見えるようなときに選択します。
  - 横スジの改善：一定間隔で横縞模様のようなものが出るときに選択します。
- ⑤ 画面の指示に従って調整パターンを印刷します。
- ⑥ 画面の指示に従ってプリントヘッドの位置を調整します。
  - 縦罫線すれの改善：それぞれのグループで最も縦スジのないパターンの番号を選択します。

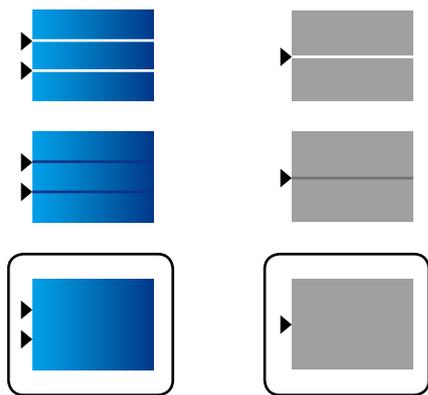
# 1



上下の線にズレがなく、直線に見えるパターンの番号を選択します。



- 横スジの改善：隙間や重なりにより少ないパターン番号を選択します。



## ▶ 給紙経路をクリーニングする（印刷結果が汚れるとき）

印刷物に汚れやこすれがあるときは、プリンター内部（ローラー）をクリーニングしてください。

### ⚠ 注意

- ▶ プリンター内部はティッシュペーパーなどで拭かないでください。繊維くすなどでプリントヘッドが目詰まりすることがあります。

- ① A4 サイズの普通紙をクリーニングしたい給紙装置にセットします。

- ② ホーム画面で [プリンターのお手入れ] を選択します。

項目を選択するには、▲▼◀▶ ボタンでフォーカスを動かして、OK ボタンを押してください。

- ③ [内部ローラークリーニング] を選択します。

- ④ 給紙装置を選択して、画面の指示に従って給紙経路をクリーニングします。

印刷物に汚れがなくなるまでこの作業を繰り返してください。

それでも解決できないときは、他の給紙装置をクリーニングしてみてください。

## ▶ 給紙経路をクリーニングする（背面MPトレイから正しく給紙されないとき）

背面 MP トレイから印刷用紙が正しく給紙されないときは、プリンタ内部（ローラー）をクリーニングしてください。

### ⚠ 注意

- ▶ プリンター内部はティッシュペーパーなどで拭かないでください。繊維くすなどでプリントヘッドが目詰まりすることがあります。

- ① クリーニングシートを背面 MP トレイにセットします。  
商品名：PX/PM 用クリーニングシート

---

- ② ホーム画面で [プリンターのお手入れ] を選択します。  
項目を選択するには、▲▼◀▶ ボタンでフォーカスを動かして、OK ボタンを押してください。

---

- ③ [内部ローラークリーニング] を選択します。

---

- ④ 背面 MP トレイを選択して、画面の指示に従って給紙経路をクリーニングします。

---

- ⑤ 手順の1～4を、2～3回繰り返します。  
項目を選択するには、▲▼◀▶ ボタンでフォーカスを動かして、OK ボタンを押してください。

### 👍 Point

- ▶ クリーニングシートは、3 回程度の通紙で効果がなくなります。

## 02 困ったときは?

### > 詰まった用紙を取り除く

プリンタの画面の指示に従い、用紙が詰まっている（ちぎれた紙片が残っている）箇所を順番に確認して取り除いてください。プリンタの画面に、詰まった用紙を取り除く方法の動画が表示されます。

#### ⚠ 注意

- ▶ 内部に手を入れるときは、操作パネルのボタンには触らないでください。プリンタが動作してけがをすることがあります。また、突起などでけがをしないように注意してください。

#### 👉 Point

- ▶ 用紙はゆっくりと引き抜いてください。勢いよく引っ張るとプリンタが故障することがあります。

### > 正しく給紙ができない

以下を確認してから、現象に応じた対処方法をお試しください。

- ・ プリンターを水平な場所に設置して、適切な環境で使用してください。
- ・ 本製品で印刷できる用紙を使用してください。
- ・ 印刷用紙取り扱い上のご注意に従ってください。
- ・ 印刷用紙はセット可能枚数を超えてセットしないでください。普通紙は用紙ガイドの  マークが示す線を越えてセットしないでください。写真用紙などの厚紙は、用紙ガイドの  マークが示す線を越えてセットしないでください。
- ・ プリンタの用紙サイズと用紙種類の設定を、実際にセットした用紙に合わせてください。
- ・ プリンタ内部のローラーをクリーニングしてください。
- ・ 他の給紙装置から給紙してください。

### → 印刷用紙が詰まる

- ・ 印刷用紙を正しい方向でセットして、印刷用紙の側面に用紙ガイドを合わせてください。
- ・ 複数枚セットしてうまく給紙できないときは、1枚ずつセットしてください。印刷用紙取り扱い上のご注意に従ってください。

## → 斜めに給紙される

印刷用紙を正しい方向でセットして、印刷用紙の側面に用紙ガイドを合わせてください。

## → 重なって給紙される

手動両面印刷で用紙が重なって給紙されるときは、給紙装置内にセットしてある印刷用紙を取り除いてから、裏面をセットしてください。

## → 増設カセットユニットから給紙できない

カセットユニットを増設したときは、プリンタドライバーで給紙装置追加の設定をしてください。

## → 用紙なしのエラーが発生する

背面 MP トレイに印刷用紙をセットしているのに用紙なしのエラーが発生するときは、用紙を背面 MP トレイの中央にセットし直してください。

## 03 消耗品の交換

### → インク残量とメンテナンスボックスの状態を確認する

操作パネルまたはコンピュータからインク残量の目安とメンテナンスボックス空き容量の目安が確認できます。

#### 👉 Point

- ▶ インクが少なくなっても交換の案内が表示されるまで印刷できます。

### → インク残量とメンテナンスボックスの状態を確認する - 操作パネル

- ① ホーム画面で [設定] を選択します。

- ② [消耗品情報] を選択します。  
右端のアイコンがメンテナンスボックスの空き容量を示します。

### → インク残量とメンテナンスボックスの状態を確認する - Windows

- ① プリンタドライバの画面を表示します。
- ② [ユーティリティ] タブの [EPSON プリンターウィンドウ！3] をクリックして、[詳細表示] をクリックします。

#### 👉 Point

- ▶ [EPSON プリンターウィンドウ！3] が無効になっているときは [ユーティリティ] タブの [拡張設定] をクリックして [EPSON プリンターウィンドウ！3 を使用する] をチェックしてください。

## → インク残量とメンテナンスボックスの状態を確認する -Mac OS

- ①  メニューの [システム環境設定] - [プリンタとスキャナ] (または [プリントとスキャン]、[プリントとファクス]) の順に選択し、お使いのプリンタを選択します。
- ② [オプションとサブライ] - [ユーティリティ] - [プリンタユーティリティを開く] の順にクリックします。
- ③ [EPSON プリンタウィンドウ] をクリックします。

## ▶ 純正インクパックのご案内

プリンタ性能をフルに発揮するためにエプソン純正品のインクパックを使用することをお勧めします。純正品以外のものをご使用になりますと、プリンター本体や印刷品質に悪影響が出るなど、プリンター本来の性能を発揮できない場合があります。純正品以外の品質や信頼性について保証できません。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。

純正インクパックの詳細は、下記 EM システムズのオンライン SHOP でご確認ください。

### 消耗品のご注文について

#### **EMオンラインSHOP**

インクカートリッジをはじめ消耗品のご注文は下記 EM オンライン SHOP にて承っております。

<https://shop.emsystems.co.jp/shop/>

※ご利用にはお客様専用の ID・パスワードが必要です。

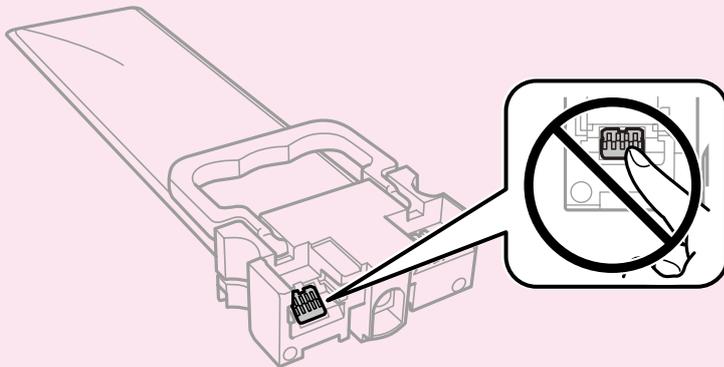
## ▶ インクパック取り扱い上のご注意

インクパックを交換する前に「製品使用上のご注意」（紙マニュアル）と以下の注意事項を必ずお読みください。

### ⚠ 注意

#### [取扱い上のご注意]

- ▶ インクパックは常温で直射日光を避けて保管してください。
- ▶ インクパックは個装箱に印刷されている期限までに使用することをお勧めします。
- ▶ インクパックは個装箱の底面を下にして保管してください。
- ▶ インクパックを寒い所に長時間保管していたときは、12時間以上室温で放置してからお使いください。
- ▶ イラストで示した部分には触らないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。



- ▶ インクパックは全色セットしてください。全色セットしないと印刷できません。
- ▶ インク充填中は電源を切らないでください。充填が不十分で印刷できなくなるおそれがあります。
- ▶ インクパックを取り外した状態でプリンターを放置しないでください。プリントヘッド（ノズル）が乾燥して印刷できなくなるおそれがあります。
- ▶ 使用途中で取り外したインクパックは、インク供給孔部にホコリが付かないように、プリンターと同じ環境で保管してください。ただし、インク供給孔内には弁があるため、ふたや栓をする必要はありません。
- ▶ 取り外したインクパックはインク供給孔部にインクが付いていることがありますので、周囲を汚さないようにご注意ください。
- ▶ インクパックはICチップでインク残量などの情報を管理しているため、使用途中に取り外しても再装着して使用できます。
- ▶ 本製品はプリントヘッドの品質を維持するため、インクが完全になくなる前に動作を停止するように設計されており使用済みインクパック内にインクが残ります。
- ▶ インクパックに再生部品を使用している場合がありますが、製品の機能および性能には影響ありません。

- ▶ インクパックの外観や仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。
- ▶ インクパックを分解または改造しないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。
- ▶ インクパックを落とすなど、強い衝撃を与えないでください。インクパックからインクが漏れることがあります。

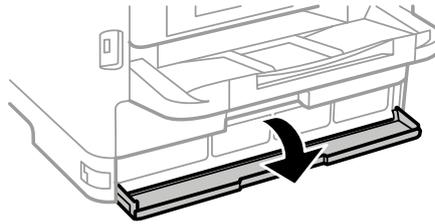
### [インクの消費]

- ▶ プリントヘッドを良好な状態に保つため、ヘッドクリーニングなどのメンテナンス動作で全色のインクが消費されます。また、電源投入時にも消費されることがあります。
- ▶ モノクロやグレースケール印刷の場合でも、用紙種類や印刷品質の設定によっては、カラーインクを使った混色の黒で印刷します。
- ▶ 購入直後のインク初期充填では、プリントヘッドノズル（インクの吐出孔）の先端部分までインクを満たして印刷できる状態にするため、その分インクを消費します。そのため、初回は2回目以降に取り付けるインクパックよりも印刷できる枚数が少なくなることがあります。
- ▶ 良好な印刷品質を得るために、インクパック装着後は2年以内に使い切ることをお勧めします。

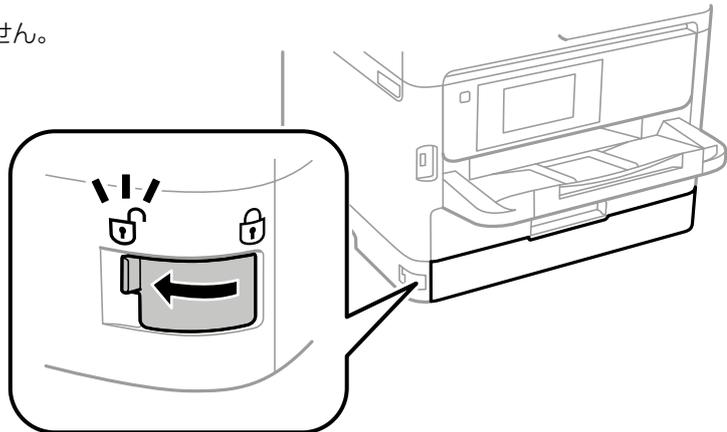
## ＞ インクパックを交換する

マゼンタのインクパックを例に説明します。

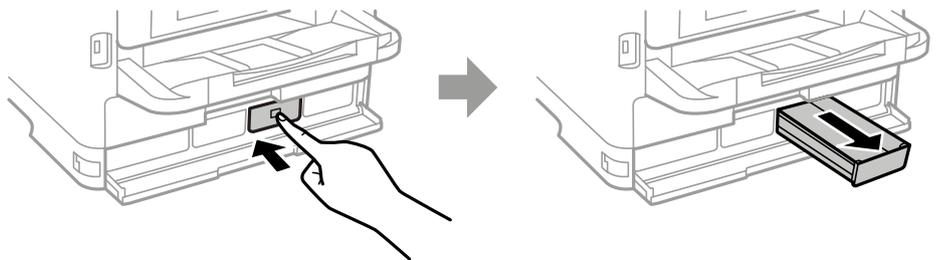
- ① 前面カバーを開ける。



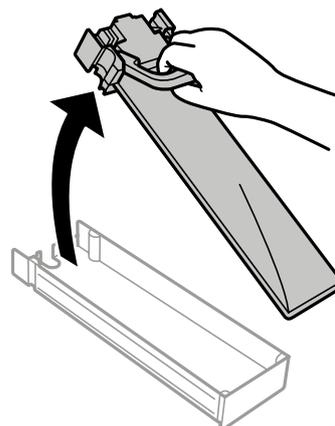
前面カバーにロックが掛かっていると開きません。  
ロックを解除します。



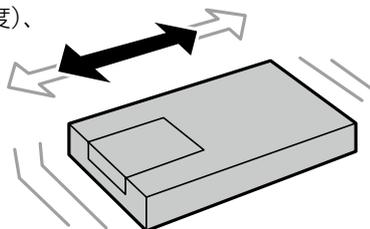
- ② インクパケットレイを押して引き抜きます。



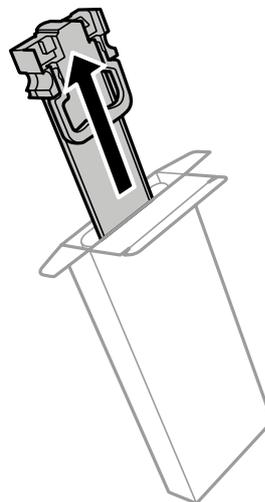
- ③ インクパックを取り出します。



- ④ 新しいインクパックを箱のまま、色ラベルの方向に 3 秒間（10 回程度）、約 6cm 幅で水平によく振ります。

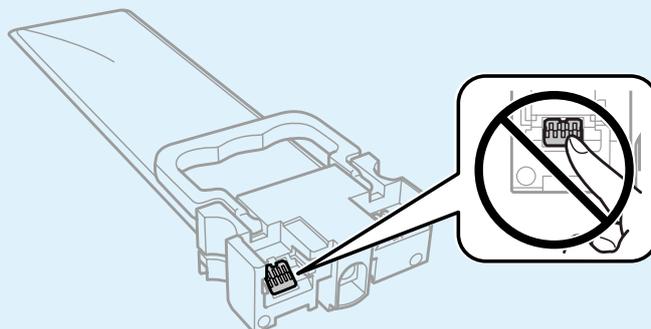


- ⑤ 箱から新しいインクパックを取り出します。

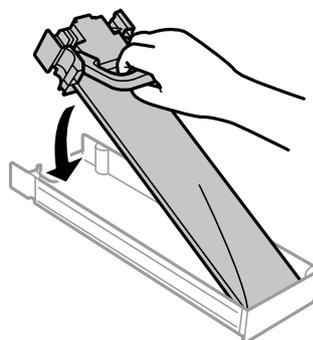


### Point

- ▶ イラストで示した部分には触らないでください。  
正常に印刷できなくなるおそれがあります。



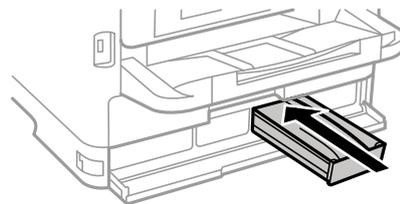
- ⑥ インクパックをインクパケットレイにセットします。



### Point

- ▶ インクパックを落とすなどして大きく変形した場合は、形状を整えてからセットしてください。変形したままだと正しくセットできず、インク残量が正常に表示されないことがあります。

- ⑦ ラベルの色を確認して、インクパケットレイを本体に戻します。



- ⑧ 前面カバーを閉じます。

## ▶ メンテナンスボックスの型番

EM システムズ純正品のメンテナンスボックスを使用することをおすすめします。  
型番は以下のとおりです。

PXMB8

消耗品のご注文について

### EMオンラインSHOP

メンテナンスボックスをはじめ消耗品のご注文は下記 EM オンライン SHOP にて承っております。

<https://shop.emsystems.co.jp/shop/>

※ご利用にはお客様専用の ID・パスワードが必要です。

## ▶ メンテナンスボックス取扱い上のご注意

メンテナンスボックスを交換する前に『製品使用上のご注意』（紙マニュアル）と以下の注意事項を確認してください。

### ⚠ 注意

#### 【取扱い上のご注意】

- ▶ メンテナンスボックスの IC チップに触らないでください。正常な動作や印刷ができなくなるおそれがあります。
- ▶ メンテナンスボックスは密封するまで傾けないでください。インクが漏れることがあります。
- ▶ 直射日光を避けて保管してください。
- ▶ 印刷中は交換しないでください。廃インクが漏れることがあります。
- ▶ 取り外して長時間放置したメンテナンスボックスは、再使用しないでください。内部のインクが固化し、インクを吸収できません。

## ▶ メンテナンスボックスの交換

メンテナンスボックスは、クリーニング時や印刷時に排出される廃インクを溜める容器です。メンテナンスボックス交換のメッセージが表示されたら、操作パネルに表示される動画を見ながら交換できます。

### 👉 Point

- ▶ インクあふれ防止のため、いっぱいになるとボックスを交換するまで印刷できません。

## ➤ 消耗品の回収と廃棄

資源の有効活用と地域環境保全のため、使用済みの消耗品の回収にご協力ください。

### → インクパットの回収

エプソンは使用済み純正インクパット回収活動を通じ、地球環境保全を推進しています。便利でお得な「引取回収サービス」で回収リサイクル活動にご協力ください。学校でのベルマーク活動による回収などのサービスがあります。回収サービスの詳細はエプソンのウェブサイトをご覧ください。

<https://www.epson.jp/recycle/>



学校へ持っていきよう!

### → メンテナンスボックスの回収

使用済みメンテナンスボックスは「引取回収サービス」をご利用ください。回収サービスの詳細は、エプソンのウェブサイトをご覧ください。

<https://www.epson.jp/recycle/>

### → インクパットやメンテナンスボックスの廃棄

回収サービスをご利用いただけない場合は、ポリ袋などに入れて、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。または産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

#### 消耗品のご注文について

#### EMオンラインSHOP

インクカートリッジをはじめ消耗品のご注文は下記 EM オンライン SHOP にて承っております。

<https://shop.emsystems.co.jp/shop/>

※ご利用にはお客様専用の ID・パスワードが必要です。

## 04 インフォメーションのご案内

PX-S884/S885 の操作、故障に関するお問い合わせは各地区の管轄インフォメーションセンターまでお願いいたします。

管轄インフォメーションセンター	対象	電話番号	FAX 番号
東京インフォメーションセンター	北海道、茨城県、栃木県、群馬県、 埼玉県、千葉県、 東京都、神奈川県、新潟県、 山梨県、長野県の 調剤システムをご利用のお客様	050-5577-2793	03-5956-0125
	E-mail	tkinfo@emsystems.co.jp	
東京インフォメーションセンター【医科】	北海道、茨城県、栃木県、群馬県、 埼玉県、千葉県、 東京都、神奈川県、新潟県、 山梨県、長野県の 医科システムをご利用のお客様	050-5577-5208	03-5956-0125
	E-mail	hc_info@emsystems.co.jp	
東北インフォメーションセンター	青森県、岩手県、宮城県、秋田県、 山形県、福島県のお客様	050-5577-5207	022-224-0821
	E-mail	tohokuinfo@emsystems.co.jp	
中部インフォメーションセンター	富山県、石川県、福井県、岐阜県、 静岡県、愛知県、三重県のお客様	050-5577-5206	052-202-0068
	E-mail	ngoinfo@emsystems.co.jp	
中部インフォメーションセンター【医科】	富山県、石川県、福井県、岐阜県、 静岡県、愛知県、三重県のお客様	050-5306-8205	052-202-0068
	E-mail	ngoinfo@emsystems.co.jp	
関西インフォメーションセンター	滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、 奈良県、和歌山県の 調剤システムをご利用のお客様	050-5577-5205	06-6393-2111
	E-mail	kansaiinfo@emsystems.co.jp	
関西インフォメーションセンター【医科】	滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、 奈良県、和歌山県の 医科システムをご利用のお客様	050-5577-5209	06-6391-2128
	E-mail	hc_info@emsystems.co.jp	
コスモシステムズ（株） カスタマーサポートセンター	中国・四国地方のお客様	050-5577-5201	082-270-0688
	E-mail	cosmocs@cosmo-s-systems.com	
九州インフォメーションセンター	九州全域、沖縄県のお客様	050-5577-2794	092-481-8380
	E-mail	fukuoka@emsystems.co.jp	
九州インフォメーションセンター【医科】	九州全域、沖縄県のお客様	050-5306-8204	092-481-8380
	E-mail	fukuoka@emsystems.co.jp	

操作お問合せ	月～金：AM 8:30～PM 8:00 / 土：AM 8:30～PM 6:00 日・祝日：AM 8:30～PM 6:00
障害受付	月～金：AM 8:30～PM 9:00 / 土：AM 8:30～PM 6:00 日・祝日：AM 8:30～PM 6:00
<ul style="list-style-type: none"><li>● PM 8:00 ～ PM 9:00 入力操作方法やレセプト（エラー連絡表等含む）に関するお問い合わせをいただきましてもご回答が次営業日以降となる可能性がございますのでご了承ください。</li><li>● 日・祝のみ大阪本社で一括して受け付けさせていただくため電話が転送されます。ご了承ください。 なお、日・祝は障害対応の電話対応のみとなります。</li></ul>	

#### よくあるお問い合わせ HP（FAQ サイト）

お客様よりいただくよくあるお問い合わせ（FAQ）を下記に記載しております。  
インフォメーションセンターとあわせてご利用ください。

<https://emsystems.co.jp/faq>

※ご利用にはお客様専用の ID・パスワードが必要です。